



水道基本料金等の減免制度

65歳以上の人がだけで構成される高齢者世帯は、水道基本料金等の減免を受けられる場合があります。

申請を希望される場合は、所得制限がありますので、まず電話で問い合わせてください。
申請・問合先 地域共生推進課

発達障害シンポジウム

「世界自閉症啓発デー」
in OSAKA 2020
4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は「発達障害啓発週間」

問合先 府民お問合せセンター
「メッセージライン」 ☎06・6910・8001

自閉症など発達障害のある人たちが社会の中で自立していくために、発達障害に対する私た

ち一人ひとりの理解を深めましょう。

日時 4月8日(水) 午後2時～4時30分

場所 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)7階ホール(大阪市中央区大手前1丁目3番49号) 定員 500人(先着順)

申込 4月3日(金)までにインターネット(http://www.pref.osaka.lg.jp/chikiseikatsu/hattatsusyogai_osaka/)

「府内主要建物のブルーライトアップ」

府内の主要建物を「世界自閉症啓発デー」のシンボルカラーであるブルーにライトアップします。(ブルーは「癒し」や「希望」を表します。)

開催日 4月2日(木)

時間・場所 日没～午後11時・大阪城天守閣、大阪府咲洲庁舎、通天閣、万博記念公園太陽の塔(主な場所)



3月は自殺対策強化月間

問合先 地域共生推進課

自殺で亡くなる人は、全国で年間約20,840人、府内でも約1,275人(平成30年警察庁自殺統計)です。自殺は様々な要因が複雑に関係して、「その多くが追い込まれた末の死」であり、「その多くが防ぐことができる社会的な問題」と言われています。悩みを抱えている人は、一人で悩まずに、専門の機関に相談してください。また、身近な人の悩みに気づいたら、温かく寄り添いながら、悩みに耳を傾け、専門家への相談をすすめ、じっくり見守ってあげましょう。

大阪府が実施する電話相談 ～こころの健康に不安を感じたら～

3月1日(日) 午前9時30分～31日(水) 午後5時は24時間体制で相談を受け付けます。

●こころの健康相談統一ダイヤル (☎0570-064-556)

※一部のIP電話などからは接続できません。

●こころのLINE電話相談 右のQRコードからLINEの「友だち」登録のうえ、無料通話機能をご利用ください。「友だち」登録後は、手続きのためすぐに電話がかからない場合もあります。「トーク」による相談は行っておりません。運用上、「既読」になることがあります。相談員には「トーク」の内容が伝わっていませんのでご了承ください。

※LINE電話は3月末で終了します。



▲QRコード

●こころの電話相談 (☎06-6607-8814)

日時 毎週月・火・木・金曜日(祝日除く) 午前9時30分～午後5時

●若者専用電話相談(わかばちダイヤル) (☎06-6607-8814)

日時 毎週水曜日(祝日除く) 午前9時30分～午後5時

●泉佐野保健所の精神保健福祉相談 (☎462-4600)

日時 毎週月～金曜日(祝日除く) 午前9時～午後5時45分

●大阪府妊産婦こころの相談センター (☎0725-57-5225)

日時 毎週月～金曜日(祝日除く) 午前10時～午後4時

●関西いのちの電話(24時間受付 ☎06-6309-1121)

●大阪自殺防止センター (☎06-6260-4343)

日時 毎週金曜日 午後1時～日曜日 午後10時

●こころの救急箱 (☎06-6942-9090)

日時 毎週月曜日 午後8時～火曜日 午前3時

●自殺予防いのちの電話 (☎0120-783-556)

日時 毎月10日 午前8時～翌日午前8時(24時間)

●厚生労働省が実施するSNS相談

「厚生労働省SNS相談」をインターネットで検索

【自死遺族相談(予約制)】 ※予約の際には、「自死遺族相談」とお伝えください。

大切な人を自死(自殺)で亡くされた人のために、来所相談を実施しています。大阪府こころの健康総合センターの専門相談員が、相談に応じます。

予約・問合先 大阪府こころの健康総合センター (☎06-6691-2818)

日時 毎週月～金曜日(祝日除く) 午前9時～午後5時45分

※QRコード対応のカメラ付き携帯電話から様々な相談機関の情報にアクセスできます。右のQRコードを利用してください。



▲QRコード

受けるなら今！「防ごう！風しん」

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性へ

風しんの患者数が増加していることから、感染拡大防止のため、**期間限定**で風しんの追加的対策を実施しています。昭和47年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性には、昨年4月に無料クーポン券を送付しています。また、昭和37年4月2日～昭和47年4月1日に生まれた男性で、抗体検査・定期予防接種を希望の場合は、健康推進課でクーポン券を発行します。

- 検査・接種当日、泉佐野市に住民登録がある人が対象となります。
 - 定期予防接種は、平成26年4月1日以降の抗体検査結果で、十分な量の風しんの抗体がないことが判明した人が対象となります。
 - 抗体検査・定期予防接種を受ける際には、本人確認ができる書類（運転免許証、健康保険証など）が必要となります。
 - クーポン券が届く前に、自費で対象の抗体検査・予防接種を受けた人には、償還払い制度（上限あり）の対象となる場合がありますので、令和2年3月31日(火)までに申請してください。
 - この制度に該当しない場合も妊娠を希望する女性、妊娠を希望する女性の配偶者、妊婦の配偶者は、一定の基準を満たすと「風しん任意予防接種費用の助成」に該当する場合があります。
- ※いずれも詳しくは、ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。

問合せ先 健康推進課

3月9日は脈の日

～寝たきり予防は

脈のチェックから！～

脳卒中の中でも、特に重症化しやすい心原性脳塞栓症予防のため、定期的に自分の脈をチェックする習慣をつけましょう。

脈が飛ぶなど、脈のリズムがおかしいなどと思ったら、すぐ受診しましょう！

問合せ先 健康推進課

※泉佐野保健所管内の泉佐野市、熊取町、田尻町、泉南市、阪南市、岬町では、脳卒中予防対策に取り組んでいます。



出典：心房細動週間ウェブサイトより

地域の医療連携の中核を担う りんくう総合医療センター

問合せ先 総務課 (☎469-3111[代表])

長きにわたる糖尿病療養を私たちとがんばりましょう

糖尿病治療の目標は糖尿病における合併症の発症、増悪を防ぎ、健康な人と変わらない日常生活を送り、寿命を全うすることです。そのために食生活の管理、適切な運動が必要とされますが、生活環境も患者さんにより多様化している昨今、その実践は難しくなっているように実感しております。

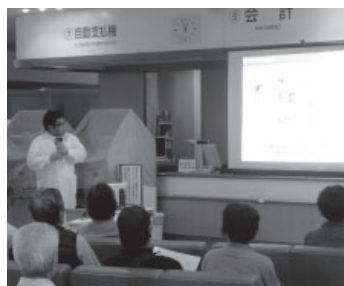
一方、近年急速に薬物療法も多様化しており、薬物療法の効果を十分に享受するため、様々な療養上の注意が必要になっております。当院ではこのようなニーズを踏まえて2019年9月より糖尿病センターを設立いたしました。糖尿病センターでは糖尿病患者の生活と治療をサポートするために、多職種(医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、臨床検査技師)でそれぞれの特色を生かして患者さんにチームで関わります。

具体的には、

- 外来での療養に関する患者サポート(フットケア外来、糖尿病透析予防指導)
- 糖尿病教育入院中の患者サポート(糖尿病教室、DVD教室)
- 市民啓蒙活動(生活習慣病教室、世界糖尿病デーりんくう健康フェスタなど)
- 血糖自己測定装置の精度管理、患者指導、運用
- 糖尿病療養指導に関わる人材の育成

などを主な役割として活動していきたいと考えております。長期にわたる糖尿病治療の伴走者として私たちにご期待ください。

糖尿病・内分泌代謝内科部長、糖尿病センター長 樫根 晋



第3回世界糖尿病デーりんくう健康フェスタ